

貯法：気密容器で室温保存
使用期限：外箱等に表示の使用期限内に使用すること

承認番号	22500AMX00388000
薬価収載	2013年6月
販売開始	2013年6月

胃炎・消化性潰瘍治療剤

日本薬局方 アルジオキサ顆粒
アルジオキサ顆粒20% 「日医工」
Aldioxa

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

透析療法を受けている患者〔他のアルミニウム含有製剤で、長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症があらわれたとの報告がある。〕

【組成・性状】

1. 組成

アルジオキサ顆粒20%「日医工」は日本薬局方アルジオキサ顆粒で、1g中アルジオキサ200mgを含有する。
添加物として乳糖、トウモロコシデンプン、カルメロースナトリウムを含有する。

2. 製剤の性状

本品は白色の顆粒である。

【効能・効果】

下記疾患における自覚症状及び他覚所見の改善
胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎

【用法・用量】

アルジオキサとして、通常成人1日300～400mgを3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

腎障害のある患者〔長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症があらわれるおそれがあるので、定期的に血中アルミニウム、リン、カルシウム、アルカリフォスファターゼ等の測定を行うこと。〕

2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 テトラサイクリン塩酸塩、 ドキシサイクリン塩酸塩水和物等	テトラサイクリン系抗生物質の作用が減弱するおそれがあるので、同時に服用させないこと。	本剤に含まれるアルミニウムイオンとキレートを形成し、吸収が阻害される。
ニューキノロン系抗菌剤 シプロフロキサシン、 ノルフロキサシン、 オフロキサシン等	ニューキノロン系抗菌剤の作用が減弱するおそれがあるので、同時に服用させないこと。	

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
消化器	便秘

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので慎重に投与すること。

【薬物動態】

溶出挙動

アルジオキサ顆粒20%「日医工」は、日本薬局方医薬品各条に定められたアルジオキサ顆粒の溶出規格に適合していることが確認されている。¹⁾

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アルジオキサ（Aldioxa）

化学名：Dihydroxo〔(4*RS*)-5-oxo-4-ureido-4,5-dihydro-1*H*-imidazol-2-yl〕oxoaluminium



分子式：C₄H₇AlN₄O₅

分子量：218.10

性状：白色の粉末である。

水又はエタノール(99.5)にほとんど溶けない。

本品は希塩酸に溶ける。

本品のフッ化ナトリウム・塩酸試液溶液(1→100)は旋光性を示さない。

融点：約230℃（分解）

【取扱い上の注意】

安定性試験

本品につき加速試験（40℃、相対湿度75%、6ヵ月）を行った結果、アルジオキサ顆粒20%「日医工」は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。²⁾

【包装】

アルジオキサ顆粒20%「日医工」

1.0g×1200包

1000g（バラ）

【主要文献】

- 1) 日医工株式会社 社内資料：溶出試験
- 2) 日医工株式会社 社内資料：安定性試験

【文献請求先】

主要文献欄に記載の文献・社内資料は下記にご請求下さい。

日医工株式会社 お客様サポートセンター

〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21

☎ (0120)517-215

Fax (076)442-8948